

質問の2項目目として、「筑前海の漁業振興について」質問しました。

2 筑前海の漁業振興について

(質問番号)

中央区長浜にあります「博多漁港」は、昨年、発表された全国主要漁港「水揚量、水揚高状況調査」において、水揚げ高日本一となっております。水揚量でいくと、銚子港が1位、焼津港が2位、境港港が3位、博多港は10位ですが、水揚高、いわゆる市場での取り扱い金額では、「博多漁港」が全国一です。

「博多漁港」の水揚高は毎年、最上位に位置していますが、これは「筑前海」が豊かな漁業資源に恵まれており、近隣に鐘崎、宗像、大島、糸島といった良好な漁港もあり、また、長崎、佐賀、大分、山口など、他県からも新鮮な魚が水揚げされるなど、福岡の市場に安定的に魚介類が集まってきたことへの検証です。



左手前方は小川洋知事



質問 1

「福岡漁港」の水揚げ高日本一を維持するためには、「筑前海」の水産資源づくりについて、県としてどのような取り組みを行うのか。

小川知事の答弁

漁場づくりや資源管理に漁業者と一体となって取り組んでいる。資源を積極的に増やすため、トラフグやアワビなど経済的価値の高い魚種の稚魚の放流にも取り組んでいる。

質問 2

漁業者の収益性を高める施策について、県としての対策、施策について。

小川知事の答弁

漁業者の収益向上のための直接販売を支援として、施設整備に取り組んでいる。また、新たな販路拡大のため、農産物直売所で水産物を販売する取り組み支援も行っている。

2回目となる、宮城県内の被災地視察を行いました

5月7日(月)→8日(火)

宮城

大震災から1年を経て、被災地がどのように変わっているのか。インフラの復旧は進んでいるのか、復興は進んでいるのか、復興の妨げとなっているのは何か、今日の課題は何かなどを見るため、昨年の5月に続き、2回目となる宮城県内の被災地視察を行いました。

本年5月7日(月)～8日(火)、東北大震災の被災地である宮城県のうち、女川町、石巻市、松島町をそれぞれ視察しました。

今回の視察では、女川町では須田善明町長から直々に現地の状況と課題などを聞くことができました。更に、石巻市においては復興政策課：大塚課長他からレクチャーを受けた後、災害廃棄物対策課：阿部主幹から市内被災地ならびに震災廃棄物仮置き場、処理施設などの案内と説明を受けました。大変有意義な視察となりました。

今回の視察の詳細なレポートについては、ホームページに掲載しておりますので、ご覧になって下さい。

■ 宮城県内被災地視察報告
<http://haranaka.jp/pg334.html>

